

福岡県中学校新人バドミントン大会
新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドライン

1 参加者に関する留意事項

- (1) 各学校で「体調確認表」（自宅で検温）を記入し、受付時に提出する。
- (2) 体温が37.0℃以上、または体調に異変を感じた時には参加を中止する（棄権時は、会場に行かず、各学校の顧問に電話等で連絡する）。
- (3) 体育館への入場は、3密にならないように学校ごとに時間をずらす。
- (4) 下靴は袋に入れ自分で管理し、下足箱は使用しない。
- (5) 試合以外では、マスクを着用する。
- (6) ゴミは全て持ち帰り自宅で処分する。
- (7) チームの試合・役割（敗者審判等）が終了したら、座っていた座席を消毒し、観戦をせず、速やかに会場を出る。
- (8) 階段やギャラリーの手すりには、触れない。

2 大会役員に関する留意事項

- (1) 入場前に入り口付近で密にならないように、各学校の待機スペースをあらかじめ設定し、入場時間をずらす。
- (2) 入場後に手先のアルコール消毒および非接触型の体温計による検温を実施する。
- (3) 入場の際に、体温が37.5℃以上もしくは体調が優れない場合は、入場を拒否する。
- (4) 開閉会式は必要最低限に行い、短時間で行う。
- (5) 試合終了後、審判用紙をはさむバインダーやシャトルの筒等を入れたかごのすべてを消毒する。
- (6) 消毒をする際は、ゴム手袋をつけて行う。
- (7) 試合に影響のない程度に換気をした状態で大会を実施する。
- (8) 適宜、会場の巡回を行い、手すりや電気のスイッチなどの消毒を行う。
- (9) 密をさけるために、組み合わせやタイムテーブルの貼付をしない。

3 監督・コーチに関する留意事項

- (1) コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う。
- (2) ミーティング等においても3密を避け、極力屋外で行い、会話時にマスクを必ず着用するなどの感染防止対策に十分配慮する。
- (3) チェンジエングの際に使用した椅子は各自、アルコール消毒をした後、移動または離席する。

4 選手および応援の生徒に関する留意事項

- (1) 観戦は、指定された場所や席、または距離を空けて（一人分は空けて座る）行い、席を移動しない。
- (2) 観戦中の応援は、声を出さず拍手などで行う。席を移動しての応援はしない。
- (3) ウォーミングアップは距離を空けて行う。
- (4) コートへの入退場は、それぞれ指定された時間に、速やかにコートに集合する。（移動の際は2m以上の間隔を空ける）
- (5) コートサイドにはかごやドリンクケースは設置しないため、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに収容する。こぼした時は、モップ等で拭きとる。（自分のタオルを使用して拭かない）
- (6) ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。
- (7) 床の汗拭きは、モップもしくは所定の用具を使用する。
- (8) 汗をコート内やコートサイドに投げない。
- (9) シューズの裏を手で拭かない。
- (10) 意識的に試合中の声出しはしない。
- (11) 選手同士やコーチとハイタッチ、握手等の接触を行わない。
- (12) 試合の前後には、各コートに備え付けてあるアルコールで手先の消毒を行う。また、試合後に対戦相手の監督・コーチからアドバイスを求めることをしない。

5 審判員および係員に関する留意事項

- (1) 感染防止のために、審判台を使用しないこともある。
- (2) 主審は、試合の前後に選手にアルコール消毒を行う。
- (3) 得点板の担当は、試合前に手指の消毒を行う。
- (4) 試合で使用したシャトルは筒に戻さずに、そのままかごに入れて本部に返却する。

6 観客に関する留意事項

- (1) 感染防止のため、観客は参加校の監督およびコーチ、選手、教職員のみとする（保護者、卒業生などの入場は禁止する）。ただし状況によっては、無観客試合になる場合もある。
- (2) 移動しての応援を禁止とし、割り当ての場所からの応援のみとする。
- (3) 試合終了後、体育館を出る際は、本部にて準備したタオルとアルコールで、応援の際に使用した場所を消毒する。